

2

取扱注意

昭和二十一年四月十五日

執務報告 (第二號)

終戦連絡中央事務局政治部

0063

一、ソ連軍ノ動向
 二、朝鮮ノ状況
 三、滿洲ノ治安
 四、北緯三度ノ北
 五、治安部隊ノ赤衛隊
 六、治安部隊ノ赤衛隊
 七、治安部隊ノ赤衛隊
 八、治安部隊ノ赤衛隊
 九、治安部隊ノ赤衛隊
 十、治安部隊ノ赤衛隊
 十一、治安部隊ノ赤衛隊
 十二、治安部隊ノ赤衛隊
 十三、治安部隊ノ赤衛隊
 十四、治安部隊ノ赤衛隊
 十五、治安部隊ノ赤衛隊
 十六、治安部隊ノ赤衛隊
 十七、治安部隊ノ赤衛隊
 十八、治安部隊ノ赤衛隊
 十九、治安部隊ノ赤衛隊
 二十、治安部隊ノ赤衛隊
 二十一、治安部隊ノ赤衛隊
 二十二、治安部隊ノ赤衛隊
 二十三、治安部隊ノ赤衛隊
 二十四、治安部隊ノ赤衛隊
 二十五、治安部隊ノ赤衛隊
 二十六、治安部隊ノ赤衛隊
 二十七、治安部隊ノ赤衛隊
 二十八、治安部隊ノ赤衛隊
 二十九、治安部隊ノ赤衛隊
 三十、治安部隊ノ赤衛隊
 三十一、治安部隊ノ赤衛隊
 三十二、治安部隊ノ赤衛隊
 三十三、治安部隊ノ赤衛隊
 三十四、治安部隊ノ赤衛隊
 三十五、治安部隊ノ赤衛隊
 三十六、治安部隊ノ赤衛隊
 三十七、治安部隊ノ赤衛隊
 三十八、治安部隊ノ赤衛隊
 三十九、治安部隊ノ赤衛隊
 四十、治安部隊ノ赤衛隊
 四十一、治安部隊ノ赤衛隊
 四十二、治安部隊ノ赤衛隊
 四十三、治安部隊ノ赤衛隊
 四十四、治安部隊ノ赤衛隊
 四十五、治安部隊ノ赤衛隊
 四十六、治安部隊ノ赤衛隊
 四十七、治安部隊ノ赤衛隊
 四十八、治安部隊ノ赤衛隊
 四十九、治安部隊ノ赤衛隊
 五十、治安部隊ノ赤衛隊
 五十一、治安部隊ノ赤衛隊
 五十二、治安部隊ノ赤衛隊
 五十三、治安部隊ノ赤衛隊
 五十四、治安部隊ノ赤衛隊
 五十五、治安部隊ノ赤衛隊
 五十六、治安部隊ノ赤衛隊
 五十七、治安部隊ノ赤衛隊
 五十八、治安部隊ノ赤衛隊
 五十九、治安部隊ノ赤衛隊
 六十、治安部隊ノ赤衛隊
 六十一、治安部隊ノ赤衛隊
 六十二、治安部隊ノ赤衛隊
 六十三、治安部隊ノ赤衛隊
 六十四、治安部隊ノ赤衛隊
 六十五、治安部隊ノ赤衛隊
 六十六、治安部隊ノ赤衛隊
 六十七、治安部隊ノ赤衛隊
 六十八、治安部隊ノ赤衛隊
 六十九、治安部隊ノ赤衛隊
 七十、治安部隊ノ赤衛隊
 七十一、治安部隊ノ赤衛隊
 七十二、治安部隊ノ赤衛隊
 七十三、治安部隊ノ赤衛隊
 七十四、治安部隊ノ赤衛隊
 七十五、治安部隊ノ赤衛隊
 七十六、治安部隊ノ赤衛隊
 七十七、治安部隊ノ赤衛隊
 七十八、治安部隊ノ赤衛隊
 七十九、治安部隊ノ赤衛隊
 八十、治安部隊ノ赤衛隊
 八十一、治安部隊ノ赤衛隊
 八十二、治安部隊ノ赤衛隊
 八十三、治安部隊ノ赤衛隊
 八十四、治安部隊ノ赤衛隊
 八十五、治安部隊ノ赤衛隊
 八十六、治安部隊ノ赤衛隊
 八十七、治安部隊ノ赤衛隊
 八十八、治安部隊ノ赤衛隊
 八十九、治安部隊ノ赤衛隊
 九十、治安部隊ノ赤衛隊
 九十一、治安部隊ノ赤衛隊
 九十二、治安部隊ノ赤衛隊
 九十三、治安部隊ノ赤衛隊
 九十四、治安部隊ノ赤衛隊
 九十五、治安部隊ノ赤衛隊
 九十六、治安部隊ノ赤衛隊
 九十七、治安部隊ノ赤衛隊
 九十八、治安部隊ノ赤衛隊
 九十九、治安部隊ノ赤衛隊
 一百、治安部隊ノ赤衛隊

0062

RA'-0157

0039

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

目次

一	官庁機構及職員名定期報告状況	1
二	議會、審議経過及法令報告状況	2
三	神社神道ニ関スル問題	4
四	困窮者救済問題	7
五	職業輔導問題	9
六	恩給及年金問題	11
七	政治犯人、釋放及其選挙権回復問題	12
八	警察力増強問題	15
九	大衆運動取締問題	17

十	華人及鮮人ニ対スル取締問題	19
十一	聯合軍ニヨル不法行為	23
十二	聯合軍ニ対スル日本人ノ不法行為	27
十三	聯合軍將兵ニ因リ邦人被害賠償並民事裁判権問題	31
十四	刑事裁判権問題	34
十五	進駐軍物資ノ賣買禁止問題	39
十六	民間武器賣買禁止問題	42
十七	国旗掲揚問題ニ就テ	44
十八	非民主主義映画上映禁止及映画検閲問題	46
十九	公娼制度廃止	48

0064

RA'-0157

0040

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

二十	石原判事案問題	50
二十一	復員状況	53
二十二	掃海状況	67
二十三	文書檢閲問題	71
二十四	日本本土外、地域に対する行政權停止問題	73
二十五	軍需品及軍需施設、返還及處理問題	76
二十六	日本政府諸官署公文書及記録、復歸ニ関スル件	80

0065

RA'-0157

0041

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0066

一 官廳機構及職員名、定期報告状況

昭和二十年十月十九日附屬令第一〇七号ヲ以テ内閣各省會計検査院稅務院行政裁判所地方官廳三府評道府縣府廳所在都市並ニ人口十万以上ノ都市及右以外ノ並立セル政治的行政諸機關ニ関シテノ組織ニ機能ノ概要及主要職員ノ氏名並ニ官等ノ報告提出方要求アリタリ。右指令ニ對シテ關係各機關ヨリ提出セラレタル資料ニ基キ右政府各部門、昭和二十年九月二十日現在ニ於ル各課又ハ之ニ相當スヘキ各部、局ノ機能ノ概要ノ要旨及課長又ハ之ニ相當スヘキ職員以上ノ氏名並ニ官等ヲ昭和二十年十月二十五日迄、間ニ逐次提出スベシタリ

次ニ昭和二十年十一月十七日附屬令第一〇七号ヲ以テ右事項ニ関シ

(イ) 昭和二十年九月一日以降十一月一日迄ニ行ハレタル一切ノ変更及
(ロ) 昭和二十一年一月十五日以降毎月十五日ニ右事項ニ関シテノ前月中迄

昭和二十一年一月十五日ノ報告ニ於テハ昭和二十一年十一月一日以降十一月三十一日迄ニ行ハレタル一切ノ変更ヲ報告スヘキ旨ヲ要求アリタリ

右覺書ニ對シ

(イ) 昭和二十一年十一月一日現在ニ於ル該等政府各部門ノ全機構及人員ノ報告又同年十一月八日提出シ
(ロ) 右報告ノ基礎トシテ毎月十五日ニソノ前月中ニ行ハレタル変更ヲ報告シ居レリ

二 議會・審議經過 法令ノ報告状況

(一) 議會・審議經過ノ報告状況

昭和二十年十月二十二日附屬令第一〇七号ヲ以テ議會ノ活動ヲ最高司令官ニ報告、為法律案及之方立法手續ノ經過ニ関スル報告書(要旨)日本政府カ司令官ニ提出スヘキ手續ヲ決定報告スヘキ旨ヲ要求アリタリ右指令ニ

對シテ債名方面ノ協議ニ上 法律草案案議事経過及公布セラレタル
法律ノ三段階ニ分ケ各報告ノ形式内容期日等ヲ定メリ立法手續等報
告手續ヲ作成シ同年十一月二日之ヲ司令部ニ通報シテ右報告手續
ニ基テ第八十九
議會ニ提出セラレタル全法律案ニ對シ各法律草案ニ報
告ヲ行ヒタリ

(二) 法令ノ報告狀況

昭和二十年十一月司令部ヨリ法規ノ效力ヲ有スル閣令又ハ省令ニ付
テ立法手續等ノ報告ト同様ノ報告ヲ得度キ旨ノ要求アリ 右要求ニ
對シ同年十一月二十六日以降緊急勅令其他ノ重要勅令並ニ特ニ重要ナル
閣令及省令(註中昭和二十年勅令第五百四十二号、ボツム)宣言受諾ニ
件ニ付スル命令ニ関スル件ト閣聯ヲ有スル命令ニ付ソノ要綱 定後
出来得ル限リ速ニソノ表題若ハ概要ヲ報告シソノ公布後三日以内ニ全

文ノ英訳ヲ提出スヘキ旨昭和二十年十一月二十五日司令部ニ通報シタ
リ 右通報ニ基キ引續キ法令ノ報告ヲ繼續中ナリ

三 神社神道ニ関スル問題

(一) 本件ニ関シテハ其後内務省ニ於テ研究ヲ進メ神社制度調査會ニ附議
シタル後閣議ニテ対策ヲ概定セリ 即ケ今後ハ信教自由ノ見地ヨリ地
神社ニ對スル凡ニル國家的特殊保護ヲ撤廢シ其取扱ニ於テ之ヲ他ノ
宗教ト同一ノ基礎ニ置キ以テ神社ヲシテ眞ニ國民ノ自由ナル信仰ノ對
象ヲラシメントスルヲ其ノ骨子トシ政府ハ此ノ案ニ基キ昭和二十年十
一月二十八日以降非公式ニ聯合軍總司令部ト接觸ヲ保ケ居リシ処十二
月十五日閣令部ヨリ政府ニ依リ國家神道神社神道ノ後援ヲ持保全管
權及公布停止方ニ関スル聲明書提示セラレタリ 右指令ノ内容ハ政府
原案ト根本ニ於テハ概テ一致シ居リ爾後關係各官ニ於テハ本指令履行ニ

0067

RA'-0157

0043

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0068

井田スル対策ヲ練リ 實行ニ移シ居レリ

(一) 此ニ採ラレタル措置ノ主アルモノトシテハ法令ノ改訂ヲ要セザル事

頃ニ因レテハ一月二日ニ日本文部省官弁都道府縣長官官公私立大學等
等學問ノ長官等ハ三月四日內務省官及神社院副總裁兼縣知事

宛神祇院ニ。第一六八号等因係官廳ヨリ地方長官其、他關係方面ニ

各種訓令通謀等セラレ法令ノ改訂ヲ要スルモノニ因リテハ十一月二日

二日附皇室祭祀令改正ニ因スル皇令第五九号ヲ附シ十一月五日附神

社關係諸令ノ一部停止ニ因スル勅令其、他一月三十一日附神社院官制

等停止ノ合ハ勅令第五十九号ニ日官報附載宗敎法人令改正ニ因ス

ル勅令第七号(宗敎法人令適用範圍ニ神社ヲ抑入ニ神社關係法令改

定ニ因スル勅令第七十一号等、外各種改訂措置採ラレ此処ニ神社ニ對

スル國家ノ特別保護ノ撤廢セラレ神社ハ國民ノ自由ナル信仰ノ對象ト

シテ他ノ宗敎ト同等ニ取扱ハレ、ノ途開ケタリ

(三) 以上ノ措置ニヨリ神道指令ノ實行ハ大半ハ完了セルモ未ダ今後ノ措

置ニ待ツモ多クナリ就中指令ノ適用上疑義アリテ司令部ト折衝中、

問題モ若干存在ス、其、中ニハ國室トナリ居ル神社ニ對スル修理費

、國庫ニ依ル補助ノ問題、國家、或ハ公共團體トノ關係ニ於ケル神

社ノ資金、土地保管林、國有地ノ無償貸與等ニ關スルモノ、其、他財

産ニ關スル問題等アリ之等ニ關シ司令部ハ詳細報告提出ヲ要求

シ居リ報告提出後其ノ態度ヲ決スルナリ居レリ。

四 向本件指令ニ基キ政府ハ司令部ニ三月五日迄ニ既ニ採タル措置

ニ關スル詳細報告ヲ提出スルコトナリ居ル也他司令部側ハ右指令

實施就中政府ノ指示ガ未端迄忠實ニ履行セラレヤニ關シ多大ノ関

心ヲ有シ旁々本件指令中ニハ「如ク大東亞戰爭ハ終一宇ノ語」

RA'-0157

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0044

0069

公文書中ニ於ケル使用ノ禁止ニ付、如何公的施設ニ於ケル神祇等ノ撤去ノコト、如何官公吏ノ公的資格ニ於ケル神祇參拜ノ禁止等通用範圍多岐ニシテ措置派トシテハ屢ナルモノ、勘カラサルヲ以テ地方事務局ニ於テモ必要ニ慮ン關係方面ノ注意ヲ喚起セラレタム

四、困窮者救済問題

昨年十二月八日附聯合軍最高司令部ノ命令ニ對シテ政府ハ同日三十一日附ヲ以テ困窮者救済福祉計畫ヲ提出セリ、其ノ要旨左ノ如シ
(一) 現行ノ各種肉保特令(例ハ救護法戰災保護法母子保護法医療保護法軍事保護法)ニ代ル抱括且ツ綜合的^新法律ヲ制定スルコト
(二) 政府救済施策ヲ擴大強化スル爲メノ軍民間団体ヲ設立シ、從來ノ軍人救済會戰災救済會海外同胞救済會ハ之ヲ廢止スルコト

(三) 以上ノ計畫、實施ニ至ル間ハ十二月十五日閣議決定^生「**生活困窮者**」
緊急生活救護要綱」ニ基キ右覽者ニ基キ指定セラレタル期間内ノ救済^福福祉計畫ヲ實施スルモノトス

而シテ右閣議決定ノ内容ハ
援護^護ハ、標準世帯家族五名ニ付月額二百円ヲ限度トシ家情ニ應ジテ於食住医療職確保及金錢給付ニ依リ實施スルコトトシ之ガ爲メ中央地方ノ様、護担当機關ノ補充強化ヲ圖ルコトトシ、救護ニ要スル至費トシテ差当リニ億円ヲ支出スルモノトス

右ノ政府計畫ニ對シテ二月二十七日附聯合軍最高司令部ヨリ日本政府案ハ左ノ條件ノ下ニ實施スルニ於テハ異議ナキ旨、回答アリタリ
(一) 厚生省ニ於テ府縣廳並ニ其ノ他ノ政府地方機關ニ依リ統テ困窮者ニ差別ナリ又特殊ノ取扱ヲスルコトナリ、衣食住、医療、救済ノ実

RA'-0157

0045

池スルニ付

(一) 四月三十日以後、私的又ハ半官的團體ニ是等困窮者、財的援護及
本計畫實施ノ責任ヲ委任セザルコト

(二) 救済ニ要スル費用ニ付テハ一定ノ限度額ヲ設定セザルコト

五 職業輔導問題

陸海軍ノ計画セル還疾傷病軍人保護並ニ退職軍人職業輔導會及復員

援護會ニ依リ軍主省主管ノ財團法人復員輔導會ノ設立ニ依リ復員軍人

ノ輔導實施セントシテ、ハ聯合軍最高司令部ノ各ルル所トシテ、一面、

海外引揚同胞並ニ軍需工場ノ終業ニ伴フ工場勞務者ノ失業ニ依リ昨年未

失業者總數ハ五百万人以上ト推定セラレ、綜合的失業対策ヲ緊急ニ定ム

ルノ要アリ、復員軍人ノ職業輔導ヲ之ガ一環トシテ其ノ他、失業者ト併

セテ綜合企画スルヲ適当トスルニ至レリ

此處ニ於テ學生省ニ於テハ軍需産業離職者復員軍人海外引揚民戰死者等

ノ失業者ニシテ其ノ技能智識及資力等ノ事情ニ因リ職業輔導ヲ行ハザ

レバ直ニ就業シ得ザルモノヲ対象トシテ(1) 技能的職業輔導(工、電気工

通信工、洋和裁等)事務的職業輔導(簿記、速記、翻譯、タイプライター等) 自動車

運輸手、農林、木産、製塩指導者)養成等ハ各ノ全国各地ニ職業輔導所ヲ設

置充スルノ外、(2) 援護施設ノ擴充並ニ、(3) 就業資金ノ給與又ハ貸兵ヲ為

スコト 以上ノ實施機關トシテ新クニ財團法人職業輔導協會ヲ設立ス

ルヲ定メリ

本案ニ付テハ日下聯合軍最高司令部ト接衝中ニシテ概テ其ノ了解ヲ得

ルヲ以テ予算的決定ヲ俾ケ、本月二十日頃迄ニハ具體的決定ヲ見ルヲ定

ナリ

0070

六、恩給及年金問題

軍人軍属等ニ對スル恩給、昨年十一月二十四日附聯合軍最司令官指令ニ基テ增加恩給等傷病者ニ對スルモノヲ除キ去、二月一日以降廢止セラレタリ。

政府ハ事ノ重要性ニ鑑ミ厚生省ニ社會保險制度審議會ヲ設ケ慎重之ガ善後措置ヲ研討スルト共ニ聯合軍最司令官ト協議、結果概テ左ノ如ク恩給廢止ニ依リ影響ヲ受ケル軍人軍属ハ本人ノ希望ニ依リ厚生年金保險法ニ依リ被保險者ト取扱ハルルコトニ付聯合軍最司令官了解ヲ得タリ。

(一) 軍人軍属ハ軍人軍属トシテノ在職期間中厚生年金保險ニ被保險者ト看做サレ厚生年金又ハ一時金ヲ保險給付トシテ支拂ハルルコト即チ

(二) 遺族ハ扶助料又ハ一時扶助料ニ代リテ遺族厚生年金又ハ遺族一時金ヲ

(三) 在職期間ニ二十年以上ノ者ハ二十五歳以後普通恩給ニ代リテ養老年金ヲ

(四) 在職期間ニ十年未満ノ者ハ普通恩給又ハ一時恩給ニ代リテ脱退手当金ヲ

受テ支給セララルモノトスルコト

(五) 関係者ハ在職期間中保險料トシテ納付スベカリシ金額ト國庫納金トノ差額ヲ納付スルコト

(六) 前号ニ同シテハ差額ト支拂ヲ公ニナラシムル為メニ納付金額ニ相当スル金額ヲ長期且低利ニ融通スル等適當ナル途ヲ講ズルモノトス

七、政治犯人ノ釋放及其ノ選挙權回復問題

(一) 政治犯人ノ釋放ニ関シテハ前号報告、通リ聯合軍最司令部一九四五

0071

RA'-0157

0047

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0072

年十月四日附置書政^第の公的京政的自由ニ對テ制限除去ノ件ニ
 基キ概テ同日十日頃迄ニ該黨全員ヲ釋放ヲ完了シタルガ殺人等ノ刑法
 犯乃至經濟犯ノ件ヲガ故ニ右指令ニ適用ヲ除外セラレタルハ三
 十六名ニ付キ其ノ後統司令部ヨリ情報ノ提供ヲ要求アリタルヲ以テ所
 管司法省ニ於テ調査ニタルトコロ内十三名釋放セラレタルコト判明セ
 ルヲ以テ十一月五日其ノ旨通報ニ及ビタリ尙余十三名ニ釋放者中ニハ
 政治犯ノ外刑去犯ノ件ヲ共產黨員ニ見做雄袴田里見等ニ含ムル居ルニ
 下リ

(二) 右政治犯人ノ釋放ハ右覺書ニ基キ不赦刑ノ執行停止乃至拘留ノ執行
 停止等ノ形式ニ於テ行ハレタルモノナルガ政府ハ十月十日ハ期ニ恩
 赦ヲ實施スルコトトテテ統司令部ニ詳解ヲ得タル上一部ヲ除キ同日附

-13-

大赦令ニ因リ之ヲ赦免シ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ付イテハ云渡ヲ將來
 ニ向ツテ無効トシ其ノ他ノ者ニ付キテハ公訴權ヲ消滅セシメ以テ之^等
 ノ者ニ關スル國家的抱束ヲ完全ニ解除シタリ

(三) 然ルニ統司令部ハ同年十二月十九日附置書ヲ以テ之等ノ者ノ選舉權
 ノ回復等ニ付

(イ) 日本政府ハ右十月四日附置書ニ因リ釋放セラレタル政治犯人乃至
 同覺書ニ掲載セラレタル法令ニ因リ抱禁セラレ十月四日以前ニ釋放
 セラレタル政治犯人ニ付連帶ナリ共ニ公職罷職權及選舉權ヲ回復セ
 シムヘキコト

(四) 本件ハ十二月三十一日迄ニ該黨首ニ對シテ通知セシムヘキ事
 等ニ付指令越セリ

仍テ政府ニ於テハ司法省內務省ヲ中心トシテ内務省上協議ノ上所要ノ

-14-

RA'-0157

0048

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

措置ヲ進メ

(1) 選挙権ノ回復等ニ付テハ、ホムタク宣言ノ受諾ニ伴ヒテ、命令ニ
関スル件ニ基キ十二月二十九日附勅令第七三〇号、政治犯ノ選挙
格回復ニ関スル件及同日附同第七三二号、衆議院議員選挙人名
簿ノ特例ニ関スル件ヲ次々制定公布シ

(2) 十二月三十日附主要各新聞ニ之ヲ記事ヲ掲載シ同記セシメタリ

警察力増強問題

日本政府ニ於テ揭示シタル警察力増強案ニ對シテハ、聯合軍側ニ於テ
意的ニ考慮シ得ズト、否定的回答ニ持シ居リタルガ、其ノ後全國ノ治安狀
況ハ深刻ナル社會不安ノ反映トシテ悪化、一途ヲ下リ強盜殺人等ニ
實犯ハ著増ノ傾向ニアリ又朝鮮人台島人中國人等ノ集團暴行事件モ各

地ニ瀕在シ之ガ警備ヲフルベキ警察力ハ著シク微弱ニシテ之ガ増強ノ
要望ハ世論トシテ漸時高マリツツアリヤニ感取セラレ、ガ内務省ニ於
テモ右要請ニコトヘ屢々非公式ニ警察増強問題ヲ交渉中ナリシガ一月

十六日附ヲ以テ聯合軍司令部ヨリ警備隊ノ廢止ニ関スル件及日本ニ
於テハ警察ノ武装ニ関スル件ナルニツ、覺書ニ持シタリ

警備隊ノ廢止ニ関スル件ハ、(一)日本政府ハ非軍事警察ノ増強ノ各組織

サレテ警備隊其ノ他之ニ類スル機動部隊ノ凡テヲ廢止シ其ノ活動ヲ禁ズ

ルコト、(二)警備隊其ノ他之ニ類スル機動部隊ノ現有スル凡テ、武器彈

藥ハ日本ノ非軍事警察ノ武器ニ必要ナク拳銃及ビ彈藥ヲ除キ一八九四年三

月一日以前ニ米軍ニ引渡スベキコト、(三)右武装ニ関スル例外措置ハ、國

内警察力増強ニ関スル日本政府ノ提案ヲ拒否セル一八九四年十月十

一日附總司令部覺書ノ結果トシテ規定セラルル総類九三九三五名ノ

0073

RA'-0157

0049

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

定員ヲ増強スル意圖ニ非サルコトヲ指示シテ、又右兎書ニ因聯シテ

モト日本ニ於テハ武裝解除スル件ハ、(イ)日本ハ非軍事警察官ヲ奉銃ヲ

携帶スルハ何等警察官令部ニ於テ禁止セルモノニ非サルコト、(ロ)日本警

察ハ統司令部ノ指令ニヨリ規定カレルタル警察官ノ統數ヲ超エテイ範圍外

奉銃携帶又計ナレ警備隊、現有スルモノヨリ引渡シ受ケ得ルコト

(三) 携帶シ得ル彈藥ハ奉銃一挺ニ對シ百發トスルコトヲ指示シテ、

右指令ニ基キ内務省ニ於テハ警備隊外三十行縣ニ對シ警備隊ヲ廢止ヲ訓

令スルト共ニ之ヲ廢止後ニ於ケル治安対策ニ遺憾ナキヲ期スル様通牒ヲ

發セリ、仍テ廢止セラレタル警備隊統數ハ空襲警備隊三四九一名、沿岸警

備隊一七五名ナリ

九 大衆運動取締問題(勞働爭議ニ相伴スル不法行為取締)

政府ハ十月十八日閣議ニ於テ「大衆運動」ニ相伴スル不法行為ノ取締ニ関シ

方針ヲ決定シ、其ノ所ナリタル其ノ後各種勞働爭議ニ於テ情勢ハ漸時

嚴化スル傾向ニアリ一部ニ於テハ暴行脅迫所有權ノ侵害等好マシカラ

サル不法行為ノ發生ヲ見シ、アリタル情勢ニ鑑ミ政府ハ二月二日ニ至リ

内務省法向工部省並ニ四相共同テ、發シ政府ハ健全テ勞働組合ノ發展ヲ助

成シ勞働者ニ對シ新日本建設ノ責任ト自覺ナル行動ヲトルコトヲ希

シシ勞働爭議ノ腫毒ニ暴行脅迫所有權侵害等、違法行動アル場合ハ紛争

取締ヲナスベキ旨ノ方針ヲ明カセリ

右方針ニ對シ聯合軍側ニ於テモ相違、同心ヲシアルモノ、如ク第八軍

ハ、ト大佐ハ終戰連絡事務局ヲ通ジ内務省ニ對シ地方長官宛右ニ因聯

スル通牒ヲ發スル場合ハ、軍前ニ第八軍ノ諒解ヲ得ベキ旨ヲ要請シ未レリ

ハ、内務省ニ於テハ警備局長ガ、ト大佐ニ面接シ其ノ内容ヲ説明ス

0074

0075

十、華人及朝鮮人ニ対スル取締問題

ルト共ニ第八軍團ノ意向ヲモ參照シタル上ニ二月八日附ヲ以テ各廳府縣長官ニ対シテ警備局長ニテ以テ勸告ヲ行ハシメ不法行為ヲ防止スルニ取締ニ関スル件ニ對シテ前記四相聲明ノ内容ヲ行指示スル所アリタリ

其ノ後華人ノ動向ハ移入華人勞務者リ本國還送ガ昨年十二月ヲ以テ概テ終了セルニ伴ヒ漸時平穩ニ歸レシマアリ台僑人ニ付テモ聯合軍總司令部ノ命ニヨリ一時中止セラレタル本國還送ガ昨年十二月ヨリ再々セラレツル為メ其ノ不穩事件ハ九月四件十月七件十一月ニ九件ト増加セルモ一月ガ十二月ニ於テハ九件ト減シ小波ヲ保ケツマアル狀況ナリ然ルニ朝鮮人ノ動向ハ終戦當時比較的ニ靜カリシニ抱テズ華人台僑人等ノ動向ニ對シテ刺戟セラレ次第ニ總化シ其ノ不法行為ハ十月ニ六件(内内係各種團體ニ

依ルモノ四件)十一月ニ六件(三件)十二月四二件(三五件)ト漸時増加シタリ然レ共ニ本國還送ハ其ノ本國ノ政情不安ト我國ニ於ケル治安警備ノ弛緩ニ基キ特種的地位ノ錯覺トニ基因シテ期ニ進捗ヲ示サズ其ノ前途ハ嚴戒ヲ要アル狀況ニアリ彼等ノ不法行為ヲ類別スレバ官公署事業ニ對シテ食糧退職金等ノ集團的威カヲ以テスル不當要求事件ハ全不法行為ノ半ヲ占メ其ノ他暴行脅迫ニ依ル列車ノ不正乗車乃至之ニ係ル米麥等ノ集團的不正買出闇市場ニ於ケル經濟事犯等ニシテ其ノ法令無視的不穩行動ハ國內治安維持上憂慮スベキモノアリ然レ之等ノ動向ニ付注意スベキハ此種事件取締ニ當リ警察官ニ對シ暴行脅迫ヲ加ヘ自ら保安隊ヲ組織シテ各種團體ノ暴力機關化シ集團鬧等ニハ拳銃日本刀等ノ兇器ヲ携帶使用シ且不當要求ノ貫徹ヲ爲メ暴動ニ出ツル等ノ傾向漸時顯著トナリツマアル莫シテ一方ニ對シ日本側ニ於テモ集團力ヲ以テ反撥セシ

RA'-0157

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0051

トスル傾向ニ出ワリ、ナルハ、應ニ耐ヘルトコロナリ。

政府ニ於テハ、最近ニ大衆運動等取締ニ関スル件ニ付閣議決定ヲ為シ、本件ニ関スル方針ヲ決定シテ訂法權ニ依ル取締ヲ強化シタルモ、軍復員後ノ警備力ヲ以テテハ、其ノ完備ヲ期シ難ク、聯合軍制ノ協力ヲ要請シテ事件ノ鎮正ニ努メテ来リタル次第ナリ。其ノ間、華台鮮人ニ對スル刑事裁判權ニ付現地進駐軍中ニハ、我方ト見解ヲ異ニスルモノアリ、爲メニ一層取締弱体化シテ彼等ノ増長ヲ招来スル、苦境ニ陥リタリ。

茲ニ於テ政府ハ本件ノ技術的解決ヲ期スル為メ、警務局ヲ中心トシ、内務司法農林厚生大藏等関係各省一體トナリ相互ノ有機的連絡ヲ果實ニシテ綜合的施策ヲ樹立スルコトトシ、一月下旬以降警務局長ニ於テ屢時ノ打合ヲ遂テ其ノ結果彼等ノ中、本國帰還希望者ハ早急ニ之ヲ帰還セシムル

コト我國ニ残留ヲ希望スル者ニ對シテハ日本人ト同等ノ取締既給案ヲ實施スルコトノ根本的方針ヲ定メ、更ニ之等ヲ強力ニ實施スル為メ登錄ヲ實施シテ歸還希望者ノ有無ヲ調査スルコトヲ不良分子ハ強制送還ヲ為スコトヲ不良

團體ハ強制解散ヲ命ズルコト、之等ニ對スル我方ノ刑事司法權ヲ確立スルコト、集團暴行列車不正確等不法行為ハ斷ヤトシテ之ヲ取締ルコトヲ爲シ、殘留希望者ニ對シテハ事情ノ如何ヨリハ、日本人ト同一ノ待遇ヲ強行スルコト等一併ノ措置ヲ決シ、此ノ線ニ沿ヒ逐次總司令部ニ對シテ必要ノ要請ヲ爲シ、來リタルが同司令部ニ於テ本問題ニ関シテハ重大ナル關心ヲ示シ、在要請ニ對シテ逐次誠意アル態度ヲ以テ臨ミ、二月十七日附覽書ヲ以テ、鮮華台流氓人等、本國帰還ヲ希望有者ニ関スル登錄ヲ来ル三月十八日ヲ期シ、實施スル旨指示越シ、更ニ同月十九日附覽書ヲ以テ華人ノ際ス

0076

RA'-0157

0052

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0077

無事人等ニ付キテハ亦カニ刑事裁判權アル旨指令越シ更ニ三月六日ニハ
司令部ニ朝鮮人代表ニテ数名ヲ招致シテノ趣旨ヲ嚴重ニ申渡シ等外
我方ニ全幅ノ協力を示レリ、アリ。

此ノ結果今後ハ彼等ノ帰還ヲ促進セシムルト共ニ残留者ニ付テハ物
資配給共、他ニ付何等ノ特權ヲモ與ヘザルコトナリ且不法行為アラハ
嚴重ニ處断シ得ルコトナリタルヲ以テ此種事件モ斬テ鎮壓セラル、モ
トト豫想セラルルニ至リタリ。

十一 聯合軍ニ依ル不法行為

聯合軍進駐下ノ国内治安情勢ハ其ノ後モ依然一般射兵ノ軍紀嚴正ニシ
テ平靜理ニ推移シ、アルモ一部兵ノ不法行為ハ聯合軍側ノ積^極的ナル
防犯活動ニモ抱ラズ依然然跡ヲ絶テズ却テ次第ニ増加、趨勢ヲ示シ加タル

ニ其ノ犯情又悪質化、傾向ニアリ

即チ先ツ其ノ量的動向ヲ見ルニ其ノ全國的統計ニ付テハ目下内務省ニ於
テ調査中ナルカ当事務局ゲ付同省ヨリ現在迄ニ報告アリタル分ヲ綜合

スレハ昨年十月一〇五七件ナリシモノガ十一月一七五六件十二月二一九
九件本年一月二八八〇件ト逐次増加シテ其ノ内容ヲ見ルニ依然然財物奪
取カ過半ヲ占メテ強姦等、婦女関係及殺人等、兇惡犯比較的少キモ
交通事故接收爆発物處理ニ伴フ爆破被害事件等劫テカラザルモノアルハ、
注目ニ價スル所ナリ、試ニ警視廳報告ニ依レバ進駐以來本年一月迄迄
管内ニ發生セル事件總數三五〇四件、内財物奪取関係ニ七二四件交通
事故ニ二〇一件警官暴行カ至濶斂等座等一五八件強姦拉致等婦女関係ニ二
件其ノ他トテ居レリ情状ナリ
一 其ノ質的動向ヲ見ルニ物産強奪ニ際シ警銃ヲ奔射シテ殺害乃至威嚇

RA'-0157

0053

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0078

シ文ハ暴カヲ以テ被害者ヲ昏倒セシムル等決第一兇志北スル傾向ヲ示シ
ニ非ナルト共ニ一方犯行ハ決テニ知能犯の傾向ヲ帯ビ来リ或ハ統司
令部ニ直リト詳報シテ銀行ニ至リ偽造紙幣ヲ取附ニ必毒エリトテ多額
銀行券ヲ提出セシムルヲ騙取シ又ハ煙草等ニ木屑等ヲ詰メテ販賣
シ或ハ一石ニ於テ物見ヲ賣付テ代金ヲ捲上テ其レ上直後他ノ者ニ於テ
M.P.ナリト稱シ偽物賣リテ金運マル等ノ如ク事件全国各地ニ奔出シソノア

一予我國ニ於テ聯合軍ニ於テ接收セル砲彈爆藥等ハ聯合軍側ニ於テ之ヲ逐
クハシメテ海軍投棄処分ヲ行ヒソ、アルカ其ノ處理ニ際シ適切ナル措置
ニ四報等(以テ)爆藥倉庫乃至海中投棄処分ヲ行ヒソ、アルカ其ノ處理ニ際シ適切ナル措置
ヲ失シタル為テ労働者乃至附近住民ニ甚大ナル被害ヲ惹起セル事例亦全国
約ニ類發シマリ例ニハ福岡縣田川郡ニ又トシテ昨年十一月十二日
日現地進駐軍ガ同トシネル格納中ノ爆藥ノ爆發處理ヲ為スニ際シ措置ヲ

誤リ逆ニ大爆發ヲ惹起セシノ死者一四八名重傷者九二名家屋ハ六六戸全半
壊滅害額約四五〇萬円ニ及ブ被害ヲ惹起シタルガ如ク事例ナリテ此種事
故ニ依ル被害甚大ナルモノアル。此種犯行乃至事故ニシテ重要ナルモノ

ハ内務省司法省乃至各地地方事務局ヨリ通報アリ次第事務局ニ於テハ其
後又引續テ連次聯合軍司令部ニ對シ通報シ其ノ地蔵等ニ付深基ナル
注意ヲ喚起ヲ要請シソ、アリ之ニ對シ聯合軍側ニ於テ本件ニ関シ重大
ナル関心ヲ寄セM.P.ヲ留勵シテ犯人ノ檢挙ニ誠意アル努力ヲ請フ其ノ檢挙
率ヲ漸次高マリソ、アルモノ、如ク且其ノ處分ニ付テモ例ニハ昨十一月
月二十六日奈良公園ニ於テ研美日本人二名ヲ殺害セル米兵ノ死刑ニ處シ又昨
年十月十一日福島縣中村町法廷第七十七號行中村支店ヲ襲テ行金二萬二兩
四千強奪セル米兵二名ニ對シ各十年及五年ノ重労働懲役ヲ科シタルガ
如ク軍法會議ハ以テ烈ナル態度ヲ以テ該ニ以テ中絶ノ防ニ積極的ニ努力
シソ、アル情見ナリ。

RA'-0157

0054

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

RA'-0157

0055

一、聯合軍ニ對スル日本人ノ不法行為
 聯合軍將兵ニ對スル日本人ノ不法行為ハ進駐當初極メ少シト其ノ
 進駐ハ當初ノ危機ニ反シテ平穩程ニ実施セラルルヲ以テ後國民ガ漸ク
 治安ニ親シラルト又勞務者トシテ聯合軍ニ雇傭セラルル者ノ數次第ニ増
 加シタルトニ基因シテカ次第ニ増加ノ跡ヲ示シ試ニ東京區裁判所檢事局
 ノ統計ニ依リバ昨年十一月九八件ナリシモノガ十二月ハ六六七件本年
 一月ニハ更ニ九五一件ト相当ノ増加傾向ヲ示シテリ
 然レ共竊ノ罪種ヲ見ルニ大半ハ米軍物資集積場等ニ於ケル邦人勞務者ノ
 輕微ナル竊盜犯ニシテ被害額僅少初犯者ノ偶然的犯行ニシテ殺傷等ノ惡
 質犯ハ僅クニ昨年十二月十九日札幌ニ於テ [redacted] 外ニ名イ少年ガ窃盜現
 行犯ヲ發見セラレ追跡セル米軍哨兵一名ヲ刺殺シタル事件及昨年十一月

0079

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

十四日宇都宮市内ニ於テ復員軍人
 予ト戯レ居リシ米軍憲兵一名ヲ醉餘毆打セル事件等若干ヲ数フルト過
 於テ其ノ他米兵ヨリ周物資買受事件米兵ノ「マキ」ル禍事件復員軍人ノ武
 器隠匿携帶事件等モ悪質化ハ僅少ニシテ又最近米兵ヲ菜ヒ又ハ米兵女
 ト共犯関係ニテ強奪強姦等ニ及ビタル悪質犯ノ発生ヲ甚タルモ未ダニ
 ニ過ヤズ。大局的ニ見テ数ノ増加ニ拘ラズ特ニ憂慮スベキ事態アリトハ
 認メ得ザル状況ナリ。

政府ニ於テ公此種不法行為ガ聯合軍ニ及ボス影響ニ鑑ミ之ガ絶滅ヲ期シ
 聯合軍側ト密接ナル連絡ノ下ニ善犯ノ檢察裁判ニ遺憾無キヲ期シ善犯等
 善ト共ニ迅速ニ之ヲ檢察シ迅速ニ處理ヲ遂ル身寄盜犯ノ大難ニテアリテハ
 被害種々テ輕微ニシテ然モ戰時中衛生ヲ強ヒラレタル國民生活ヲ相心
 ンル犯情必ズシテ重シト爲シ得ガルモノ多キモ之ヲ最重ニ處罪スル等誠

スル態度ヲ以テ軍紀處理ニ努カシ来リタル
 聯合軍側ニ於テモ固ヨリ此種事件ヲ重視シ之ガ檢察等ニ付テ萬全ノ協力
 ヲ與フルト共ニ其ノ裁判檢察ニ對シテハ重大ナル関心ヲ示シ共ノ餘事件
 ニヨリテハ我々ノ誠意アル努力ニモ拘ラズ遺憾ナカラ彼我々同及至凶情
 相違ヲ見解ノ相違ヲ示シ我々ノ處理ニ付不満ノ意ヲ表明シテ前記
 礼儀ニ於テ米兵殺害事件乃至昨年十二月十八日崎玉縣下ニ惹起セル
 外十四名ケ米兵ヨリ軍衣靴等約四萬圓ヲ買受テタル事件ニ於
 テ如ク犯人ヲ聯合軍軍法會議ニ於テ裁判セルモノアリ。或ヒハ京師ニ於
 テル石原判事事件ノ如ク主任判事ノ罷免方ヲ指令シ来リタルモノアリ。
 更ニ昨年十二月十八日附覽書有毒飲食物流通取締ノ件ノ如ク懲役三
 以上十五年以下等違反者ニ對スル刑罰ヲ指定シテ良法ヲ指令越セルカ

RA'-0157

0056

女子事件アリ。

當事務局ニ於テハ司法内務各關係有ト連絡ノ上此種事件ハ原則トシテ我方ニ裁判權アリ且我方ノ責任ニ於テ處理スルヲ至当トスル見解ノ下ニ同意ト發生ト共ニ聯合軍總司令部ト折衝シ其ノ諒解ヲ求ムル事ニ努カシ未リタルモ遺憾ナラ前記事件ノ如ク發生ヲ見ルニ至リタル次第ナルカ其ノ後聯合軍總司令部ハ二月十九日附覽書「刑事司法權ノ行使ノ件」ヲ以テ此種事件ハ自今總テ聯合軍側軍法會議等ニ於テ裁判スルコトトシ日本裁判所ハ裁判權ナク旨指令送セリ。

本指令ニ周シテハ其ノ後折衝ノ結果日本裁判所ハ裁判權ナクモ犯人ノ檢舉及大ニ隨伴スル所等ノ搜查ハ之ヲ爲シ得ル旨ノ言明ヲ得タリ。尚日本人窃盜犯人ニシテ米軍哨兵ヨリ現行犯ヲ誰何セラレ逃走ヲ企テ射殺セラレタル事件全固ニ且リ其ノ教訓ヲ与ラザルモノナリ。此ノ英米間

シテハ當事務局ニ於テモ射殺等ノ舉ニ出ゾルコトナキヤラ聯合軍總司令部ノ注意ヲ喚起シツアリ。

一三 聯合軍將兵ニヨル邦人被害ノ賠償並ニ民事裁判權問題

聯合軍將兵ニヨル各種不法行為(別項参照)ニヨリ邦人が被リタル損害ノ賠償問題ニ関シテハ被害者中莫ニ同情ニ堪ヘザルモノ勘ナカラス。之が救済ヲ構ムル要緊切ナルモノアルトコロ此種損害賠償問題ハ民事裁判問題ト関連シ技術的ニ相當ノ困難アリ。仍チ當事務局ニ於テハ司法内務厚生各關係省ト連絡ノ上民事裁判權ノ問題トハ別途ニ本問題ヲ解決ヲ遂メルコトトシ聯合軍將兵ノ不法行為ニヨル損害ハ之ヲ全面的ニ聯合軍自体ニ於テ負擔シ可然補償方法ヲ構ゼシムルヲ至当トスル見解ノ下ニ昨月十一月以降聯合軍總司令部トノ間ニ數次ニ亘リ接衝ヲ重ネ来リタルトコロ

0081

ニシテ其ノ間ノ経過ニ因シテ八本年一月十二日附地方長官宛並ニ之ノ前
後ニテ各地ヲ事務局長宛通報シ及ビタル通リナリ。即チ當事務局ニ於テハ
昨年十一月二十二日聯合軍總司令部ニ對シ非公文書ヲ以テ、
與ヘラルベキ被害範圍ハ例ヘハ川崎市ニ於テ發生セル未タノ
空事件ニ於ケル如ク犯人明白ニシテ其證明充分ナル場合ハ因ヨリ一般ノ
強奪事件等ニ於ケル如ク聯合軍將兵ノ犯行ナルコト目撃者ノ證言等ニ
依リ証明充分ナルモ具體的ニ犯人ヲ明ニ爲シ得サル場合及福岡縣遊目所
ニ又墜道ニ於ケル火藥類爆発事件ニ於ケルカ如ク聯合軍側ノ責任ニ歸ス
ヘキ事田ニヨリ被害者起セル場合等ヲモ拘合スルコトトシ又、
同トシテハ必再エラハ聯合軍側ノ審理ニ協力スベキ我方ノ機關ノ設置時
ニ終戦連絡事務局各裁判所檢察局等ニ

RA'-0157

0058

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0082

機関トテ活用スベキコト等ノ諸點ニ付我方ノ要望ヲ述ベ本問題ノ誠意ヲ
 示シ解決ヲ希望シタルトコトは總司令部ヨリ八月三十日及十二月十三日
 ノ二回ニ亘リ覽書ヲ以テ本件ニ関シテ八月日本内閣政府陸軍省ト研究申ニ
 付確答ハ暫時猶豫アリ度キ旨ノ回答越シタルヲ以テ爾來其ノ確答ヲ待望
 シ其ノ間被害國民ヨリ提起アリタル賠償要求ノ訴ヲ留保シテ、アリタル
 トニ其ノ後徒ニ時ヲ空クスルヲ以テ本年一月二十二日ニ至リ重テ要
 請ニ及ビタルトコトは總司令部ヨリ本内閣政府ニ於テ本件ノ解決ヲ爲ス迄ノ
 間第八軍ニ於テ暫定的措置ヲ構スベク考究中ナルヲ以テ遂ク何等カノ措
 置ニ及ナハズ旨言明ヲ得今日ニ及ビ居ル次第ナリ
 然レニ其ノ後二月二十六日付覽書ヲ以テ民事司法權ノ行使ニ関シ、一、聯
 合軍ニ從フ聯合國民ニ對シテハ日本裁判所ノ民事裁判權ヲ行使スル
 事

本政府
 民事上ノ訴ハ日本政府ヲ經由シテ總司令部ニ之ヲ提起スベキコト、一、右
 以外ノ聯合國民ニ對スル日本裁判所ノ裁判ハ總司令部ノ再審査ヲ受ケル
 コトアルベキ等ノ諸點ニ付指令越セリ
 本指令ニ據シ我方トシテハ本指令カ本件賠償問題ニ對シテモ適用アルモ
 ノナリ又在ヤニ付疑義アリタルヲ以テ總司令部ニ對シ照会セルトコトは在
 兩者間ニハ關係ナク賠償問題ニ付キテハ別途ニ考究中ナル旨言明ヲ得タ
 リ

一四、刑事裁判權問題

聯合國人ノ犯罪並日本人、聯合軍乃至其ノ將兵ニ對スル犯罪ノ裁判權ノ
 歸屬ニ関シテハ政府ハ國際法上治外法權ニ享有スル聯合軍將兵ノ犯罪ヲ
 除キ當然我方ニ於テ之ヲ有スル、見解ノ下ニ該等事件ノ處理ヲ爲シ未
 タルが昨年十月二十三日山形縣酒田市ニ於テ邦人漁夫が中華民人竊盜

RA'-0157

0059

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

犯人ヲ殺害セル事件發生シ其ノ裁判權、歸屬ニ因シ現地日本側裁判所ト
現地駐屯軍トノ間ニ見解ノ相違ヲ来シ双方ヨリ中六ニ講訓シタル結果吉
事務局ト聯合軍總司令部トノ折衝ニ移リ數次ニ亘リ會談ヲ遂ゲタル次第
ナルガ同總司令部ノ態度容易ニ決セズ其ノ向我方ノ刑事裁判權ノ不確定
ヨリ取締動搖シ爲ニ鮮台華人集團暴行事件各街ニ頻發シ又北境ニ於テ
ル日本人ノ米袋殺害事件續クテ京都ニ於ケル石原判事罷免事件等好マシ
カラサル事態相次イテ惹起シ之等ノ根本原因的解決ヲ期スル爲ニハ早急
ニ本問題ノ決定ヲ必要トスルトコトヨリ一月十四日ニ至リ吉事務局ハ總
司令部ニ對シ非公式文書ヲ以テ本問題ニ關スル我方ノ見解ヲ披瀝シ即チ
一聯合軍人軍屬ノ犯罪及聯合軍ニ對スル重大ナル犯罪ハ聯合軍ニ於テ裁
判スルトコトナルベキモ其ノ重大ナル犯罪ニ付其ノ概念ヲ明確ニセラレ

度キコト。(二)自命ノ犯罪ハ總テ我方ノ裁判權ニ歸屬スベク尙我方ノ裁判
カ一般ニ輕キニ過グト聯合軍ヨリノ非難ハ我方ニ於テ之ガ改善方ニ付
全幅ノ努力ヲ爲シツ、アルコト等ヲ明ラカニシ以テ本問題ノ迅速ナル解
決ヲ要請ニ及ビタリ。

然ルニ右要請ト前後シテ東京横浜等子葉地區ヲ始メ全國各地ニ於テ現地
進駐軍ヨリ現地裁判檢察機關ニ對シ鮮台華人ノ犯罪アリタルトキハ之ガ
逮捕ハ日本側ニ於テ之ヲ爲シ得ルモ檢察裁判ハ之ヲ爲シ得ル旨ノ指令
發セラレトテ二月六日總司令部「スポー」ノ「談話」トシテ日本ニ居
住スル者ハ聯合軍將兵軍屬ヲ除キ總テ日本法令ノ適用ヲ受クベキ旨ノ新
開表「ア」彼此相矛盾シ總司令部ノ真意把握ニ甚慮シ居リタルトコロニ
月十九日ニ至リ同日附屬書「刑事司法權ノ行使ニ關スル件」並「鮮人等ノ
裁判ニ關スル件」ニ通リ指令ヲ以テ本件ニ關スル全面的ナル方針

0083

RA'-0157

0060

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

ヲ指示セラル、ニ至ル。即チ同指令ニ依ルバ、
 合同国民ニ對シ刑事裁判権ナキコト。一日本裁判所ハ聯合軍及至將兵ノ
 安全ヲ害スベキ犯罪殺人傷害等ノ對聯合軍將兵犯罪聯合軍物資ノ不法所
 持處分等ノ行爲聯合軍ノ指令ニ依リ逮捕セラルベキ者、逮捕ヲ妨グル
 行爲聯合軍ヨリ要求アリタル公的事項ニ關スル情報ノ提供ヲ妨害シ又ハ
 虛偽ノ報告ヲ爲ス等ノ行爲指令ニ依リ解散ヲ命ゼラルタル団体ノ爲ニス
 ル行爲等七項目ニ揚ガレ諸行爲ニ付裁判権ナキコト。三占領目的ニ違背
 スル行爲ニシテ日本法律ニ依リ處罪シ得ルモノニ付キテハ日本裁判所ニ
 於テ裁判スベキモ必要アルトキハ聯合軍側ニ於テ之ヲ裁判スルコトアル
 ベキコト。四以上ニ對スル聯合軍側ノ裁判ハ軍事委員会及憲兵裁判所等
 ノ軍事占領裁判所ニ於テ之ヲ行ヒ刑ハ死刑ヲモ科シ得ルコト。五日本官

憲ハ聯合國民ニ對シ原則トシテ逮捕権モナキニト。六鮮台流球人ニ付キ
 テハ被告ハ歸國ヲ希望スルトキ日本裁判所科シタル判決ヲ再審査シ彼
 等ノ利益ノ爲ニ変更シ得ルコトトセラレタリ。

本指令ノ解釈ニ關シテハ尚若干ノ疑義アルヲ以テ目下總司令部及第八軍
 司令部ト折衝中ナルカ現在左ニ判明セルトコロニ依ルバ、一華人ニ付キ
 テハ我方ノ裁判権ナキモ鮮人白人ニ付キテハ之有ルコト。二前記七項目
 ニ揚ガレ犯行ニ付キテハ国籍ノ如何ヲ問ハズ犯人が日本人ナリトモ聯合
 軍側ニ於テ裁判スベキコト從テ聯合軍物資竊盜等自今我方ニ裁判権ナ
 キコト。三刑事司法権ニ關シカキニ各地現地軍ヨリ發給セラレタル指令
 ハ本指令ニ違背スル限リ無効ナルベキコト等判明セリ。
 仍テ政府ニ於テハ二月二十八日司法省ヨリ全國司法機關ニ通牒シタルヲ
 始メ内務省ヨリハ全國地方長官宛ニ事務局ヨリハ各地方事務局ニ夫々

0084

RA'-0157

0061

0085

通牒ヲ送シ以テ本指令ノ遵守ニ遺憾ナキヲ期シタリ
斯クテ聯合國人ニ對シ我方ノ裁判權ヲ全面的ニ剝奪セラレタルハ眞ニ遺憾ニ耐ヘザルコトコトナルモ鮮台人等ニ付テハ我方ノ裁判權明確ナリ爾
今更等ニ對スル取締ノ徹底ヲ期シ得ルコトナリ又我方ノ裁判權ノ限界
明確トセラレタル結果從末トモスレバ起リ勝テナリシ我方ノ現世司法權
固シ聯合國側現地進駐軍トノ内ノ好マシカラガル紛争モ自ラ消滅セラル
ハモノト期待セラル

一五 進駐軍物資ノ賣買禁止問題

聯合國進駐軍以來國民中ニ聯合國軍將兵ヨリ煙草其ノ他ノ物資ヲ買漁ル者ヲ
生ズルニ至リタルハ風儀上面白カラサルモノアリタルトコ也此ノ傾向ハ
進駐軍ノ全國ニ擴大スルト共ニ各地ニ波及シ其ノ犯情モ漸次悪質トナリ一

部聯合國軍將兵中ニハ軍紀ヲ紊リ官給品タル軍衣軍靴等ヲハ盜ミ出ス者ヲ
出シ他面國民中ニハ之ヲ轉賣シテ暴利ヲ企求スル者アルヲ見ルニ至リタ
リ

總司令部ニ於テハ此ノ傾向ヲ重視シ將兵ニ對シ日本人ニ對スル物資
販賣ヲ嚴禁止スル旨指令スルト共ニM.P.ノ取締ヲ強化シ以テ事犯ノ絶
滅ニ努力シ去リタルが我政府ニ於テモ總司令部ト連絡ノ上十月止旬ヲ
テ新聞等ニヨリ一般國民ニ對シ自肅ヲ要望シ違反アラハ嚴重ニ處罰ス
ベキ旨戒告スルトコトアリタル
然ルニ我國現行法制上ニハ之ヲ強力ニ取締ル法規ナク府縣ニヨリテハ新
ニ府縣令ヲ制定シ之ヲ處理シアルモ其ノ罰則ハ右法令ノ性質上僅カニ拘
留科料刑ヲ出テス事案ニヨリテハ刑法贓物ニ用スル罰則國家總動員法及至
煙草專賣法等ヲ適用シ嚴重ニ處罰シ得ルモ其ノ適用範圍ハ解釋甚大ナリ

RA'-0157

0085

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

狭カラサルヲ得ズ、爲ニ事件ノ處分ニ付裁断所被事局ノ難カニモ
拘ラズ現地進駐軍当局ノ難キニ失スルトノ非難各地ニ於テ起リ司法権
ノ内滿ナル遂行止輕視シ得サル情勢ヲ惹起スルニ至リタルヲ以テ政府ハ
此種事件ニ對スル嚴重ナル罰則ヲ制定公布スルコトトシ司法省ヲ中心ト
シテ「ボツ」ハ宣言ノ受諾ニ伴ヒ発スル命令ニ關スル件ニ基ク必要令ヲ司
法内務兩省令ヲ以テ制定スベク一月以來總司令部ト折衝ヲ用性セシタリ
然ルニ二月十九日附覽書「刑事司法権ノ行使ニ關スル件」ヲ發セラレ本件關係
事件ハ爾今總テ聯合軍法會議ニ於テ裁判セラル、コトトナリタルヲ以テ
右省令ノ發布ハ更ニ再檢討ヲ要スルコトトナリ司法内務兩省令ニ於テ目
下ニハ考慮中ナリ
尚本件事案ハM.P.側並我方ノ峻烈ナル態度ニ依リ漸次減少シ傾向ニアリ

0086

2/5/16
花袋 7/5

一六 民間武器ノ蒐集ニ就テ

民間武器蒐集ニ關シテ八月二十九日及十月二十三日、兩覽書依リ民間
保有トシテ所持ヲ許容セラル、總銃刀劍及工業用爆發物ニ付一應原則的
方針が決定セラレタルガ特ニ刀劍ノ取扱ニ關シ全国各地ニ於ケル実施ノ狀
況ハ現地進駐軍当局ノ解釋ニ依リ取扱區々ニ巨リ勘カラサル紛糾ヲ未シ殊
ニ第八軍司令部ニ於テハ日本政府(警察署長)ニ依リテ保持許可證ヲ發行
スルハ何等^聯命令軍側ニ於テ承認セルモノニ非ズ之ハ聯合軍側ニ於テ再審ハ
上證明書發行スルモノナルノ方針ヲ執リ各地ニ於テ此ノ方針ニ基キ再審査
ヲ開始セシトセリ

斯クテハ刀劍問題ニ關スル日本政府ノ解釋ト根本的ニ差異ヲ生スルヲ以テ
政府ニ於テハ總司令部ニ對シ右方針ニ關スル確認ヲ要請セル所一月十日
附覽書ニ依リ總司令部ハ九月二十四日發セラレタル個人ノ刀劍保持許可

同報
12号

RA'-0157

0086

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0087

方針ヲ再確認スル旨指令シ来リ。併シ右總司令部ノ指令ノ趣旨ハ依然第八軍司令部及シテ管下ノ現地部隊ニ徹底セズ先般内務省ニ於テ民間武器無許可保持者ニ以テル罰則ヲ規定セシトシ其ノ原案ヲ總司令部例ニ内示シタル所獵銃及爆発物ニ付テハ内務省ノ方針ヲ承認シタルモノ劍ニ付テハ保持許可證ハ占領軍ニ於テ發行スベキモノニシテ其ノ旨勅令ニ規定スベキトヲ要求シ且日本政府ニ保持許可證ノ發行ヲ認メタル十月二十三日ノ指令ハ変更シタルモノナルコトヲ言明セリ。

斯ノ如クハ刀劍ニ因スル從來ノ方針ヲ根本的ニ変更スルモノナルヲ以テ日本政府トシテモ直ニ之ニ屈服シ得ズ殊ニ占領軍カ日本国民個人ニ證明書ヲ發行スルガ如クハ日本行政管理ハ日本政府ヲ通ジテ行フトハ原則的取リキメニ對スル重大問題ナルヲ以テ目下内務省ニ於テハ總司令部ニ

對シ證明書ハ依然日本政府ニ於テ發行シ得ル様要請中ナリ。併シ右ノ此ノ点ニ關スル總司令部例ニ第八軍司令部ノ意向ハ相違無クナル如ク看取セラル。

一七 國旗揚場問題ニ就テ

國旗揚場問題ニ關シテハ十月廿日總司令部對シ國旗揚場ヲ必要トスル日ノ表ヲ提出シ之ヲ許可ヲ要請シ、アルガ數次ノ督促ニモ拘ラズ何等ノ回答ニ接セズ本件ニ關シテハ如何ニ督促スルモ參謀長ニ於テ決裁ヲ肯ゼカ
ル由ニテ其ノ内情ハ
イ) 軍國主義ノ鼓吹トナル如ク俱アリトノ議論(歸還兵ノ出迎及陸海軍記念日等)
ロ) 聯合國兵カ興奮ヲ賜メト(時ニ戰場ノ生々シキ記憶ヲ有スルモノニ付テ然リ)

RA'-0157

0064

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

ハ、聯合国兵ノコトニシテハシテインゲルノ対象トナリ易キトシテ
難機微ナル問題有スルモノトナリ
斯クテ日本政府ニ於テハ止ム得ズ全般問題ノ解決ハ暫ク指テ留ム場
合ニ付先チノ了解ヲ求ムルコトトシテ四チ年元始祭、新年宴会及ヒ紀元節等
ニ於テ國旗掲揚ヲ承認ヲ求メ夫々承認セラレタリ
一般ニ在承認セラレタル祝祭日ニ於ケル國旗掲揚ノ状況ヲ見ルニ一般國
民ハ占領軍兵士ニシテ不法行為ヲ見ルル餘リカ或ハ戦災等ニヨリ國旗ヲ
所持セサル爲カ國旗掲揚家屋ハ甚々僅少ノ様認メテハ聯合国側
ニ於テ日本国民ノ國旗掲揚ノ意欲ヲ察シ評價スル惧アリ又ニ認めラレル
ヲ以テ承認セラレタル場合ハ國民トシテ積極的ニ掲揚ヲナスヲ適宜ト思
料セララル

0088

非民主主義映画上映禁止及映画検閲問題

20.10.16
6/ 非民主主義映画上映禁止及映画検閲問題
總司令部ハ昨年十一月十六日附ヲ以テ「非民主主義的映画ノ除去ニ関スル件」ナル覺書ヲ發シニ百三十數本ノ日本映画ニ對シ即時上映賣買交換ノ禁止及ヒ其等ノ原板複製ノ凡テヲ回收スベキコトヲ指令シ来リ
右ハ映画ヲ通ジ民主主義ニ反スル國民主義的軍國主義的又ハ封建主義的思想ノ宣傳ヲ禁止セントスルモノニシテ特ニ封建制度生命ノ蔑視(自殺)ノ武士道ノ育成及民族ノ唯一性優劣性並細亞ニ於ケル日本ノ特殊地位等ノ宣傳ヲ禁止セントスルモノナリ
此等ノ覺書ニ基キ内務省ニ於テハ右趣旨ヲ全国ニ通牒シ其ノ原板及複製フィルムノ回收ヲナシ之ヲ内務省廳舎ニ保管中ナリシ所總司令部ヨリ二月十七日附覺書ヲ以テ右禁止映画ハ各映画ニシテ四本ノ原板ト一本ノ原板トヲ除キ凡テ第八軍ニ引渡シヘキコトヲ指令シ奉リ内務省ニ於テハ目下之標準

RA'-0157

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0065

備中ナリ

全通史路
ニカ
地

仍右トハ別ニ總司令部ニ於テハ凡ノ日本ノ映画ニ對シ檢閲ヲ行フコトト

政府ハ映画及幻燈ノ凡テノ所有者及ビ製作者ニ對シ二月二十八日迄ニ未

檢閲フィルムノ凡テノリストヲ提出スベキコトヲ命ジ且未檢閲映画及

幻燈ノ映寫ヲ禁止スベキコトヲ指令シ未レリ

内務省ニ於テハ右指令ニ基キ地方廳ニ對シ通牒ヲ發スルト共ニ各映画會

社ニ對シテモ右趣旨ヲ傳達シリストヲ作成一部未發見ノモノヲ除キ三日

十二日司令部ニ提出セリ 司令部ニ於テハ目下右未檢閲映画ヲ逐次檢閲

中ナリ

在備中各地方ノ寫真(三七) 三三(一) 三三(二) 三三(三) 三三(四) 三三(五) 三三(六)

一月日檢出

0089

RA'-0157

0066

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

一九 公娼制度廢止

總司令部ハ一月三十一日附ヲ以テ日本ニ於ケル公娼廢止ニ関スル件ニ
ル覺書ヲ發シ日本ニ於ケル公娼ノ存続ハ民主主義ノ理想ニ違背シ且全
國民間ニ於ケル個人ノ自由發達ニ相反スルモノナルヲ以テ日本政府ハ
一公娼ノ存続ヲ許容スル一切ノ法令ヲ廢止スルコト
二婦人ヲ直接又ハ間接賣淫業務ニ契約シ若クハ拘束スル一切ノ契約ヲ
無効トシラシムルコトヲ指令シ来レリ
右指令ニ基キ内務省ニ於テハ三月五日内務省令第三号ヲ以テ娼妓取締
規則ヲ廢止スルコト共ニ同日附ヲ以テ警視總監及ビ各廳府縣長宛通牒
ヲ以テ

一 公娼制度ニ関スル地方關係法令ハ三月二十日迄ニ廢止スルコト
二 公娼制度ニ関シ女子ノ賣淫行為ノ爲ニ拘束スル契約並ニ合意ハ一切
無効ナルベキコト

三 公娼制度ニ関シ前借年期限特殊契約ニ関シテハ拘束ヲシテ自発的ニ
之ヲ放棄セシムル様指導總通スルコトヲ指示セリ
仍右ニ関シ總司令部公共衛生部マリドナレ大佐ニ諒解ヲ求メタル際婦
女子ガ自発的ニ拘束等ト合意シ上賣淫ヲナスハ之ヲ絶滅スル事不可能
ナル旨述ハタルニ対シ婦女女子ガ眞ノ自由意思ニ基キ之ヲナス場合ハ如
何トモ致シ難キヲ以テ之ヲ禁止スル意思ハナキ旨言明諒解ヲ得タリ

三月三號

0090

RA'-0157

0067

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

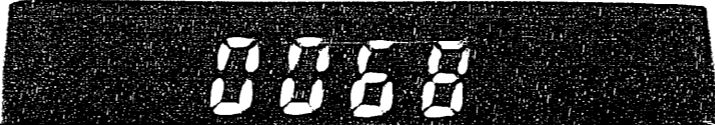
National Archives of Japan

二。石原判事罷免問題

聯合軍總司令部ハ昨年十二月十日附覚書ヲ以テ、突然京都之裁判所
判事石原武夫ノ罷免方ヲ指令シ来リタリ。由未判事ノ地位ハ我が國憲
法上保障セラル、トゴロニシテ、判事ノ公正ナル裁判ヲ担保シ國民ノ
裁判ニ対スル信頼感ヲ確保スル為其ノ保障制度ノ維持ハ緊要ナルモ
ナレバ、當局ハ事ヲ重視シ直ニ司法省ニ連絡シ其ノ間ノ事情ニ付調
査ヲ逐々タルニ概要次ノ如キ事情判明シタリ。即チ昨年十一月六日現
地軍門下ハ予備役陸軍技術大尉 [redacted] 轉居、為家村
道具ヲ運搬中手榴彈ハ、拳銃一、家村道具中ニ所持シ居リタル為之ヲ
所持シ本件人重大ナル犯罪ナルヲ以テ迅速ニ処置スベシトハ意見附シ
テ所轄警察ニ引渡シタリ。事件京都之裁判所ニ繫属スルヤ石原判事主任

0091 335

RA'-0157



外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

トナリタルが同判事ハ右M.P.ノ意向トシテ軍ニ迅速ニ処置スベントノ
傳ヘラレ居リM.P.側カ本件ヲ重大犯罪視シ居ルコトヲ知ラザリシガ
通常通り審理シ其ノ結果 大尉ガ屠島ニ於テ原子爆彈ニ罹ルモリ家
族ノ後始末等ニ忙殺サレタル尚右兵器ノ提出ヲ忘却シアリケルモリニ
シテ聯合軍ニ対スル叛逆等ノ他意ナキヲ確認シタル上十一月十四日
砲火藥預取締施行規則ヲ適用シ法定刑懲役一年以下又ハ罰金ニ百円以
下ノヒコロ、罰金刑ノニ百円ニ処スル旨ノ審式命令ヲ下シタリ、然ル
ニ之ニ對シ現地M.P.側ハ該刑ヲ極大テ輕トシテ水刑ノ意ヲ表シ、之
畢竟全判事ガM.P.側ノ前說意向ヲ無視スルモノニ外ナラズトナレ同月
十七日右判事ヲ召致シテ事情釋明ヲ求メタル事實アルコト判明シタリ、
仍下當商ハ十二月十八日GHQニ對シ、本件ニ關シテハ右判事ニ於テ

故意ニM.P.側ノ意思ヲ無視セルモノニアラザルノミエラズ前記M.P.側
ノ意思モ完全ニ同判事ニ傳ヘラレ居ラザリシコト、判事ノ地位ハ之ヲ
保障スル非レバ國民ノ裁判制度ニ對スル信頼ヲ失墜セシメ國民政治
ノ維持上憂慮スベキモノナルコト等ヲ陳シ本指令ノ兩方ヲ要
請セルモ、遂ニ答ル、トコトナラズ、同判事ハ同月未依願免官ノ形
式ニテ罷免セラレタリ。

0092

0069

RA'-0157

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

二 復員狀況

(一) 内地部隊

(1) 昭和二十年十一月三十日復員ヲ完了シ

昭和二十年十二月一日以降、^{中一}亦ニ復員省トシテ復員業務ニ任ジ、

アリ、兩復員省管下在内地現存自叙左ノ如シ

亦一復員省関係ニ七、九四〇名

亦ニ復員省関係ニ一、九八九名

昭和二十一年三月末ヲ以テ兩復員省ヲ廢止シ四月一日以降復員廳

亦一復員局、亦ニ復員局トシテ引續キ復員業務ニ任ズル豫定ナリ、

ハ亦一復員省留衛配置附表亦一通

亦ニ復員省留衛配置附表亦一、通

(二) 外地部隊

(1) 復員狀況 左表ノ如シ

	陸軍	海軍	計	終戦前兵士	復員兵力	復員率	残存兵力
	三三〇万	三八万	三六八万	六四万一九四	二六六万	二八九%	二七方
				七五万二〇四	二九三万	二八九%	二七方

(四) 外地部隊ハ昨年十月以降主トシテ南朝鮮、支那大陸、台湾、比島及

中部太平洋諸島ヨリ十月十七日

十一月一三万、十二月一三、七万、一月一八万ト逐次復員ヲ繼續シ

0093

RA'-0157

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0070

0094

アリシ処今回在外部隊及邦人ノ帰還輸送ノ旨並海軍ニ依リトナラシメ
 商船及LST合計約二百隻僱與サル、コトナリ之等ノ船ハ二月下旬
 以来逐次就航シ始メ三月下旬ヲ以テ左部就航ノ運ビトナル予定ナリ
 之等ノ船腹ハ差当リ支那、台湾方面ニ配船サル、予定ニシテ之ニ依リ
 外地部隊ノ復員大イニ促進サル、コト、サリタリ
 目下ノ見透シ左表ノ通

地域	兵力	帰還予定年月	摘要
朝鮮地区	九万		南朝鮮地区ハ殆んど終了
支那地区	一〇〇万		
台湾地区	二〇万	二十五年五月	

南方地区	六三万	二十五年末	終戦時南方地区ニ在リシ艦船ヲ以テ復員中ニテ 其一部昨年十月下旬頃迄看測艦繼續中
比島	約七万	本年中	米軍ノ指令ニ依リ二月下旬ヲ以テ一旦 復員中止七月下旬ヨリ再開ノ予定
中部太平洋地区		二月末終了	
ラバウル ソロモン 地区	二二万	本年十月	一月下旬以来海軍艦船ヲ配船中

備考 (一) ソ連軍上領下(滿洲、樺太、千島、朝鮮)ハソ連ノ態度不明ナル
 為見込立、ズ、
 (二) 各地域別ノ詳細ナル配置別表ノ通
 (三) 地域別在外邦人所在負數別表ノ通
 (四) 復員輸送用艦船就航状況

RA'-0157

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

(一) 第二復員省所屬引揚輸送從事中ノ艦船左表ノ通(百十者現在)

艦種	隻數	排水屯數
航空母艦	二	二七、七〇〇
巡洋艦	三	二二、〇〇〇
驅逐艦	二八	四六、六〇〇
海防艦	四九	四三、四〇〇
輸送船	七	九、八〇〇
病院船	三	二一、八〇〇
輸送船	六	二八、一〇〇
其ノ他	二二	一一、三〇〇
計	一一〇	二一一、七〇〇
未就艦船	一六	一八、五〇〇
合計	一二六	二三〇、二〇〇

地域別配艦狀況左ノ通

地域	隻數	排水屯數
濠北ラホール	一〇	六七、八〇〇
中部太平洋	二八	三四、二〇〇
台湾	三九	六五、〇〇〇
支那	三三	三七、八〇〇
南鮮	一一	五、七〇〇

備考

(1) 二月末中部太平洋方面ノ引揚完行ニ依リ現在之等地域ニ配艦中ノ船艘ハ大部分ハ支那方面ニ一部ヲ濠北方面ニ配分サル、予定ナリ
 (2) 然戰時南西方面ニ所^在シ艦船約一六隻(四〇、二〇〇屯)ハ同地域ノ引揚者ヲ收容逐次各地ニ吸還引續キ同地ノ引揚輸送ニ從事シ、カリ

0095

RA'-0157

0072

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

(一) 船舶運送會所屬引揚輸送配船狀況

地域	隻数	總噸数	記号
南 鮮	一八	二六、七〇〇	
支 那	三四	九四、七〇〇	汎米軍貨與リバライ LST 二七隻
海地部太平洋	八	五五、六〇〇	
台 湾	一九	一三四、六〇〇	汎米軍貨與リバライ 一三隻又
計	七九	三一一、六〇〇	

備考

(1) 艦裝中ノ米軍貨與リバライ 四隻(三八、七〇〇噸) LST 二隻

(三) 一八、〇〇噸

(2) 米軍貨與リバライ 一〇〇隻 LST 八五隻概ハ三月下旬ヲ以テ全部就航ノ予定

0096

RA'-0157

0073

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

在外邦人 地域別所冒数 (21-3-1現在)

地名	人員			計	記	備
	陸	海	員間			
樺太	19000	118	430000	449118		
千島	43000	1804	4112	48916		
朝鮮	82589	9132	294932	386653	不正確	
沖繩	?	?	?	約10000		
ハワイ	約700	約300	約500	約1500		7415=221=互相当数 在1甲陸強者+2660(同221=多 カレ別)
ロタ	1538	1912	3786	7236		
トラツク	382	2116	884	3882		
ボナペ	682	477	0	1159		
滿洲	700000	0	1000000	1700000		極大不正確
基北	166840	1181	100607	268628		

181

華中	628725	15552	86115	930332		
華南	110159	830	13265	124254		
海南島	0	16494	4472	20966		
台湾	126498	21755	398656	546909		
比島	61425	39899	9703	59027		
佛印北部	32000	132	2200	34332		
佛印南部	13600	7890	4029	105519		
泰	116290	1250	3845	121385		
ビルマ	43182	11709	11	74372		
馬來	114138	40942	5686	160766		
スマトラ	81700	845	4284	66859		
インド	52625	15770	9684	78079		
北米	2226	0	767	2993		

182

0097

北本	ラゴヤ	1976	24	35	203	
北本	ラビー	8563	387	1990	10140	
南本	南ホルネ	19800	15979	4495	40074	相対不
北本	北本	6514	1062	1907	9283	
北本	東部	12482	5871	4171	2524	
北本	東部	472	210	0	682	不
北本	東部	2100	1180	280	3560	不
北本	東部	150	435	110	695	
北本	東部	17254	2551	195	20000	
北本	東部	600	0	0	600	
北本	東部	36165	5478	0	41643	
北本	東部	12500	12000	0	24500	
北本	東部	10500	840	0	31340	

-63-

北本	ラゴヤ	299000	1302	101	3110318	
北本	ラビー	5718	384	0	6642	
北本	南ホルネ	-3730	265	0	3975	
北本	北本	2221	182	0	2403	
北本	東部	61211	3606	0	97217	
北本	東部	2648255	264564	2388540	5311357	

-64-

(註) 1. 上記以外は不明なものを相当数として記入し、
2. 引揚数字は、その本表に記載されず、
3. 引揚数字は、その本表に記載されず。

0098

表一 第一復省官係關係一第
省負復一第

附表第一

東部復員運輸局 總務部
 (東京) (長官) 渉外部
 北部復員監部 地方屯誌部(札幌、旭川、釧路、函館、
 (札幌) 北道上陸地支局十函館(小樽)
 東北復員監部 地方屯誌部(青森、福島、盛岡、秋田、仙台、山形、
 (仙台) (仙台支部)
 東部復員監部 地方屯誌部(東京、甲府、横濱、浦和、千葉、水戸、宇都宮、前橋、長野、新潟、
 (東京) (東京支部) 関東上陸地支局、關東支局、關西支局、關東支局、
 (長野) (長野支部) 北陸上陸地支局、北陸支局、北陸支局、北陸支局、
 東海復員監部 地方屯誌部(富山、金澤、靜岡、名古屋、岐阜、
 (名古屋) (金澤支部)
 中部復員監部 地方屯誌部(京都、大阪、奈良、和歌山、神戶、福井、
 (大阪) (京都支部) 山陰上陸地支局、近畿上陸地支局、近畿上陸地支局、
 中國復員監部 地方屯誌部(岡山、廣島、鳥取、松江、山口、
 (廣島) 中國上陸地支局、大竹、廣島
 四國復員監部 地方屯誌部(高松、徳島、高知、松山、
 (高松) (高松支部)
 西部復員監部 地方屯誌部(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿兒島、
 山口上陸地支局、下関(山口) 山口上陸地支局、山口上陸地支局、
 福岡上陸地支局、福岡(門司) 福岡上陸地支局、長崎、
 鹿兒島上陸地支局、加治木(鹿兒島)

留守業務部
 復員經理部
 復員通信部
 第一復員高等裁判所
 第一復員地方裁判所(北都、東北、等々)
 第一復員拘禁所(札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、香川、福岡)
 停舎管理部
 臨時陸軍業務整理部(下)
 航空本廠、燃料本廠、被服本廠、糧食本廠、造兵廠、
 (製紙本廠、衛生材本廠、獸資本廠、畜畜本廠、運輸部)

RA'-0157

0076

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

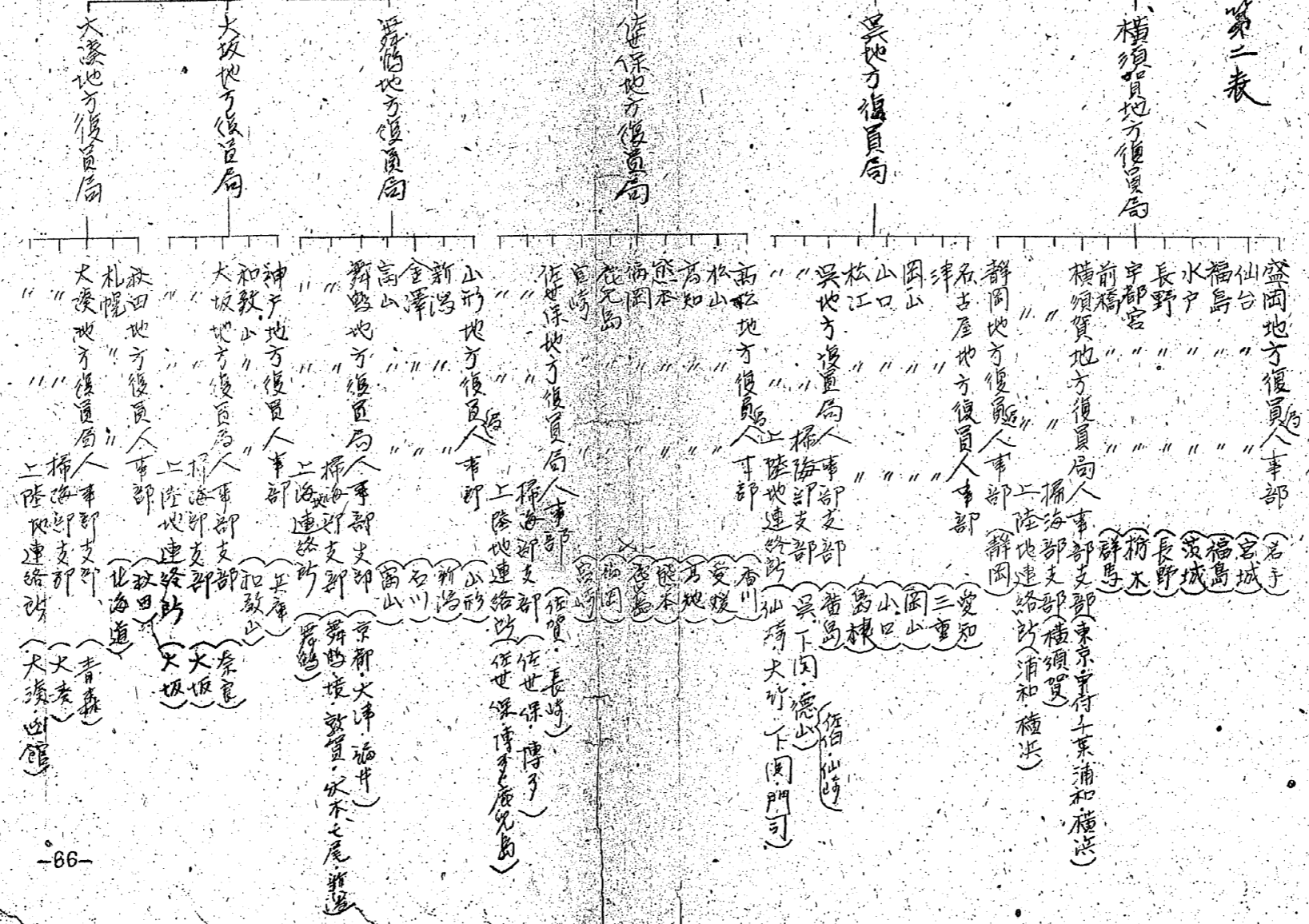
国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

表一 第一復員省關官署機構一覽表

附表第二表



RA'-0157

0077

二 掃海状況

掃海ハ国家トシテノ重大作業ニシテ目下聯合國最高司令部ヨリ日本
政府ニ対スル命令中一与ニ基キ左ニ依リ米側ニ協ナシ掃海中ナリ
尚日本周辺ニ敷設セラレタル機雷ハ日本側五五、二六九個聯合側約
一〇、〇〇〇個ナリ

(1) 地方掃海支部

大湊、横須賀、大阪、徳山、呉、佐伯、下関、博多、
仙崎、佐世保、境、舞鶴、敦賀、伏木、七尾、新潟

(2) 掃海船隻 約三二〇隻

(3) 掃海関係員 約一三、〇〇〇名

(4) 最新米側ヨリ聯合機雷音響、磁気、水圧ハ機構、関係上本年

五月末ヲ以テ全部無効トナルベキ旨指示アリタル處昨年十二月末米
側ヨリ聯合機雷磁気、水圧ニハ自滅装置ヲ三月以降モ引續キ

掃海ヲ実施スル要アル旨改メテ指令アリタリ。ヨシテ新計画(別表)
中ニ基キ掃海中ナルモ泊地及水路ノミニシラ之が完了ニハ茲一、二
年ヲ要スル見込ナリ

尚石泊地水道以外ノ海面ハ爾后當分ノ間ハ危険状態ニシテコレガ対策

政府トシテ真剣ニ研究ノ要アルベシ

目下内海、和泉灘、開門、日本海沿岸、諸港ハ極力掃海実施中ノ處

重要水路ヨリ啓閉スベキヲ以テ艦艇、通航ハ漸次許可セラルベシ

今迄ノ處分機雷數ハ四六一八個ニシテ敷設機雷數ノ約四三一分ナリ(別表)

米國敷設機雷中ニ依リ波、磁気、水圧機雷、掃海ハ特ニ有効ナル方法

0101

RA'-0157

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0078

フウ特ニ米價ノ指令モアリ自体ヲ以テ機留處介セントスル試航船四隻ヲ整備シ目下瀬戸内海方面ノ試航ニ從事中ナリ

試航船ニ依ル處介機留ナシ

(四) 日本敷設機留ノ掃海完了シタルモノハ約一四・六四%ニシテ残部ノ宗谷海峡、八戸沖、南西諸島ノ一部、對馬海峡、河州島等ハ八月末マデニハ完了ノ見込ナリ。

(五) 終戦以來掃海艦艇ニシテ掃海中機留ニヨリ被リタル損傷左ノ通り
沈没 海防艦 一隻、駆潜特務艦 五隻、大発 三隻、漁船 七隻
大破 掃海艦 一隻、駆潜特務艦 一隻
中小破 海防艦 一隻、駆潜特務艦 八隻、漁船 二隻
死亡 七一名、重軽傷者 一八〇名

0102

(六) コレヲ束スルニ菲合國側ノ指令ヲ不遵センニハ掃海負ノ確保、掃海艦艇ノ修理掃海具ノ造修等特ニ重要作業ナル處現屯局ニ艦ニ何レモ至難ノ業ニシテ國家トシテ真剣ニ考慮ヲ講ズル要切ナルモノアリ。

RA'-0157

0079

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

昭和二十年十一月末第一騎兵師団所屬ノ一曹長が順次内務省其ノ他若
干ノ官署ニ来リ何等ソノ資格ヲ証明スベキ書面ヲ所持セズ口頭ニテ右官
廳ノ文書ノ檢閲ヲ行ヒ度キ旨速ベタルヲ以テ二三ノ官廳ハ一應之ヲ拒ミ
タルモ承諾セズ遂ニ檢閲ヲ強行シタル事件發生セリ

本件ニ関シ同年十一月十一日及二十四日覺書ヲ以テ司令部ニ對シ右ノ如
キ場合ニハ豫メ通告ヲ行ハカ又ハ責任者ノ署名セル資格証明書ヲ携示セ
シタルヤウ要請セタリ。之ト相前後シ司令部ヨリ十一月十日附覺書ヲ以
テ聯合國最高司令官カ其ノ代表者ヲシテ日本国内ノ官公署会社団体ノ保
有スル記録及文書ヲ査閲セシムルニ當リ其ノ資格及權限ヲ明瞭ナラシム
ル爲ニ一定ノ証明書ヲ三十枚ヲ作成ノ上提出スベシトノ指令アリタリ。

本件對シ關係各方面ニ連絡ノ上同年十二月五日証明書ヲ作成交付シタリ。

0103

RA'-0157

0000

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0104

二四 日本本土外、地域ニ対スル行政権停止問題

(一) 昭和二十一年一月十九日附司令部覚書ヲ以テ日本政府ハ

(1) 日本本土外、地域ニ対シ若ハ右地域ニ在ル政府官吏傭人又ハ他、

人民ノ上ニ政治的又ハ行政的権力ヲ行使シ又ハ行使セシムル企圖スル

コトヲ停止スベキコト

(2) 司令部ノ許可ヲ得タル場合ヲ除キ船舶通信及天候關係等ノ常軌ノ

運営以外、目的ヲ以テ日本本土外、地域ニ在ル政府官吏傭人又ハ

他ノ人民ト通信セザルニト

(3) 日本本土外、地域ニ關係アル日本勢在政府機關ニ関スル報告(右機關

ノ機能組織及職員ノ一覽表ヲ含シ)ヲ提出スベキコト

(4) 右 政府機關ノ記録ハ凡テ之ヲ保存シ司令部ノ 関ニ供シ得ルヤラ

備シ置クコト 等ノ要求アリタリ

右覚書ニ對シ關係各方面ニ連絡シ必要ノ措置ヲ採リタリ又内務大臣

司法費林及運輸、各省並ニ逓信院管下ノ該等機關ニ関シ前記(1)ニ於テ

要ホセラレタル報告ヲ昭和二十一年一月九日附覚書ヲ以テ司令部ニ提出シタリ

(2) 本覚書ニ於テ日本トハ日本ノ四ツノ主要島嶼(北海道、本州、九州及

四國)及対馬諸島(北緯三十度以北ノ琉球(南西)諸島ヲ含ム)約一千ノ附

屬小島嶼ヲ云フモノト規定セラレ (1) 樺太島、竹島、及青洲島、(2) 口

島ヲ含ム北緯三十度以南琉球列島、伊豆、南方、小笠原ノ諸島及

右以外、全テ太平洋諸島(大東諸島、沖ノ島、南鳥島及中ノ

島ヲ含ム)

(3) 十島列島(齒舞、島、水島、勇留、秋勇留、志波、及多樂諸島ヲ含

ム)及色丹島ハ除外セラレアリ、更ニ日本政府ノ政治上及行政上ノ管轄



RA'-0157

0082

前掲ニ係ルモノハ、其ノ北域トシテ、西一九四四年世界大戦ノ
 前始ニ未だ委任統治ノハ、其ノ北ノ理ヨリ、日本ニ依リ奪取スル上領セ
 ラレタル太平洋ノ在テ、諸島、南洋、台湾、澎湖列島、
 一掃ニシテ、其ノ北ノ南洋ニ開入ルモノ、地裁ハ原則トシテ、今後ニ至リテ
 ヲリ、其ノ北ノ南洋ニ、一カノ指令、官書及命令ニ適用セラルルモノ、其ノ北ノ南洋
 官制ハ、其ノ南洋ニ於テ言及セラルルモノ、小島、最良的、南洋ニ於テ、聯合國ノ
 政策トシテ、無關係ナルモノトシテ、其ノ北ノ南洋ニ、
 日本ニ開入ルモノ、規定ニ依リ、日本本土ヨリ附外セラルルモノ、其ノ南洋ニ
 ニ於テ、官書、指令、條約、委任、官書、命令、南洋ニ於テ、其ノ南洋ニ
 支拂、島民子弟、本土ノ上級學校ニ入ルモノ、其ノ南洋ニ、其ノ南洋ニ
 十一年二月二十六日附員書ヲ以テ、司令、對、南洋ニ、其ノ南洋ニ

0105

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

右照会ニ對シ昭和二十一年三月二十二日附覽書ヲ以テ司令部ハ昭和二十一年一月二十九日附覽書ノ一部ヲ變更シ端端岩以北ノ伊豆南方濱島ヲ左覽書ニ規定セラレ居ル日本領ノ範圍内ニ含マシムルコトトシタル旨同答ニ併セテ右地域ニ對スル日本政府ノ政治的行政的權限行使ヲ復活スベキ旨要求シ来リタリ。

(三) 昭和二十一年四月三日司令部ハ非公式文書ヲ以テ一月二十九日附覽書ニ於テ要求セラレ居ル報告(一)ハ參照)ノ範圍ヲ擴張セル新ナル報告ヲ提出方要求越セリ。

即チ新ニ提出スベキ報告ニ於テハ(一) 自滿朝鮮樺太南洋羣島統治地滿州支那官領地域及昭和元年以降日本が占領シタル地域ニ於テ活動シ居リタル機關(日本ノ各省各省及内閣ノ各官局、官立又ハ半官ノ会社又ハ金融機關

0106

民間ノ大開濟会社及大金融機關、日本ノ大倉社ノ支店、官領地在任日本ノ利益ノ爲又ハ日本人現地人間ノ融和ノ爲設立セラレタル慈善社會愛國又ハ文化ノ諸団体ヲ含ム)ノ昭和二十一年八月一日現在ノ表、左機關ノ管轄地域機能及現在ノ状態、(四) 右機關ニ關係アル勅任官(軍司令官及司政長官ヲ含ム)又ハ之ニ相當スベキ者並ニ勤務地ニ關スル特殊技能ヲ有スルノ故ヲ以テ任命セラレタル者ノ表ヲ提出スルコトナリ。目下準備中ナリ。

0107

RA'-0157

0003

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

軍需品及軍用物資の運送及処理問題

日本軍の軍需品は、戦時中、直接民衆の振向を待たずして、糧食

糧及衣料等、日本側へ運送され、其の一部は、本年十一月二十

六日附總司令部書二紙、救済用物資として指定せられ、厚着省運管、

下二之が配給計画、樹立總司令部、許可を得、救済者、引揚氏、失業者、

其の必要救済者、配給せらるゝナリ。

其、他人の軍需品、靴、木材、石炭、及自衛隊等、返還を比較的順調ニ

行ハシ、三月八日附總司令部宛書ヲ以テ、容弁未現在ニ於ケル食糧及衣

料ヲ始メ、之等返還軍需品処理状況ニ關スル詳細ナル報告ヲ提出セリ。

機銃器具及兵器等ハ個々ニ民衆轉換ヲ申請シ、極力之が利用促進ヲ図リ、

アルモ賠償、武装解除等ノ關係モアリ之が全面的利用ハ困難ナリ。

但シ戦車、自ラタリ改裝等ヲ許可セラレ、又兵兵器ハスラソトシテ

0108

RA'-0157

0004

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

一、前所引ノ部ヲシテ之ヲ是時ニ兵部処理有難分難立セラレリ
爆撃及強襲ノ付テハ民需生産用トシテ例外的ニ返還ヲ受ケツツアル
モ志部被^傷害アル事實ニ鑑ミ、本年一月十五日附總司令部覚書ヲ以テ聯
合軍側ノ善処ヲ要望、先方ハ之ニ對シ日本側技術者ノ協力を得ル他其
他適宜ノ措置ヲ請ヒ被害事件ノ防止ニ努メルコトヲ約セリ。

本年九月二日ノ一般命令及同二十四日附總司令部覚書ニ基キ聯合軍ニ
引渡サレタル以外ノ軍需品ノ処理ニ付テハ本年一月十一日附總司令部覚
書ニ基キ本年八月十四日より同九月二日ニ至ル期間に於ケル放出処理状
況ニ関スル詳細報告ヲホ一及ホニ復査者ヨリ中央事務局長由ニ日本日總
司令部覚書ヲ以テ提出者ナル処之等ノ中所謂隱匿物資摘発ハ内務省ニ
於テ行ヒ回収ニ得タルモノハ返還軍需品(特殊物件)ト同様一般ニ對シ公
正ナル配給ヲ行ヒンツアリ、總司令部ニ於テモ此ノ案ヲ解決ナリ。

軍中施設中工廠、研究所等ノ解放及民需轉換ノ申請ハ從來之ヲ八軍
(及ホ六軍)司令部ニ對シ個々ニ為シ來レル処本年一月二十日附總司令部
覚書ニ依リ之等ノ大部分ハ民間航空機工場ト共ニ日本政府ノ管理下に置
カレ、施設、材料等ヲ備束、賠償對象トシテ(良好ナル状態ニ於テ保存ス
ルコトヲ指令セラレタルヲ以テ、之等ノ管理ニハ大藏省國有財産部が責
任ヲ以テ當ルコトニ決定スルト共ニ中央事務局及關係各省協議、結果將
來ノ民需生産ノ為絶対不可欠ト認メラルル工廠、研究所ヲ嚴選シホ八軍
司令部ニ對シ之等ノ賠償對象ヨリ除外ヲ要請セリ。其他ノ賠償指定工
廠及研究所ノ民需轉換ニ付テハ賠償トシテ撤去セラレル迄ノコトヲ使用ニ
之ヲ限定シ右ニ付テモ今後關係各省嚴選ノ上個々ニホ八軍司令部ニ對シ
申請スルコトニ決定セリ。

賠償 指定工廠、研究所以外、軍中施設ノ解放及民需利用ハ從來通り

總務的に重要ナルモノハ中央ニ於テ其ノ便ノモノハ地方ニ於テ特殊物件
処理委員會ノ議ヲ奉ケル上個々別八軍及現地軍ニ對シ申請シ居ルニ就中
軍病院・解放人等年十一月十六日附屬書ヲ以テ天々別八軍及別六軍ニ對
シ申請同十九日總司令部附屬書ヲ以テ軍病院ハ一切之ヲ厚生省ニ移管スベ
キトヲ指示セラレタルニ現案ノ引渡關係ハ必ズシテ順調ニ行ハレ度ラ
ズ。更ニ飛行場ヲ農耕用及塩田用トシテ解放スル問題ハ安年十一月二十
一日附屬書ヲ以テ天々別六軍及別八軍ニ對シ申請セル処現案ノ解放ハ當
初と領軍ノ作戰上ノ要未ト確定ノ為メ容易ニ進捗セザリシニ極力之ヲ促
進ヲ図リタル結果聯合軍ニ於テ使用セザルモノハ大半解放許可セラルル
ニ至レリ

0110

RA'-0157

0006

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

二六 日本政府諸官署公文書及記録ノ復歸ニ関スル件

一 本件ニ関スルニ總司令部指令

總司令部ヨリ昭和二十一年一月三日附屬書ヲ以テ今次戦中並ニ終戦右日本政府各省並ニ諸官廳機關ニ於テ公文書記録其ノ他ノ書類ヲ原保管場所ヨリ他ニ移動シ又ハ焼失セルモノアリ依テ之ヲ書類ニ就キ大要ヲ通リ処置スベキ旨指令ニ未シ也

(一) 移動セル公文書類ハ之ヲ原保管場所ニ復歸セシムベキコト

(二) 原保管場所ノ破壊又ハ其他ノ理由ニ因リ保管不能ノ際ハ適當ナル保管場所ヲ新設シ其ノ旨ニ司令部ハ通告スヘキコト

(三) 公文書類中焼失セルモノニ就テハ其ノ確保シ(一)及(二)項ノ保管場所ニ保存スベキコト 若シ保存不能又ハ確保出来ザル際ハ之ヲ焼失文書一覽表ヲ作成シ司令部ハ提出スヘキコト

(四) 移動セラレタル書類ニ就テ(一)項ノ旨ヲ原保管場所ニ復歸セラレタル書類ニ就テハ(二)項ノ旨ニ依リテ(一)項ノ旨ニ復歸年月日ヲ其ノ司令部ハ通告スヘキコト

(五) 日本政府ハ各省並ニ諸官廳總長ノ官公吏職員ニ對シ本件指令ノ趣旨遂行ニ必要ナル措置ヲ講ヌベキコト

英文表一覽表ヲ作成シ司令部ハ提出スヘキコト

二 本件ニ関シ山事務局長ニ採リタル措置

山事務局長ニ於テハ事務命令採受ノ同時ニ内閣ニ連絡シ各省並ニ諸官廳總長ニ指令ニ基キ所屬ノ措置ヲ採リタル結果ヲ山事務局長ニ直ニ通報セシムルハ措置セラリ

右措置ニ依リ各省並ニ諸官廳ヨリノ報告ハ之ヲ山事務局長ニ於テ取纏ヒ三月七日附屬書ニ司令部宛提出セル起其ノ内容極々密ニ諸官廳ハ戦中其ノ公文書類ヲ戰火防止ニ爲テ疎南移動ニ終戦後原保管場所

0111

RA'-0157

0007

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

(PK)

昭和二十一年七月一日現在

執務報告 (第參号)

取扱注意

終戦連絡中央事務局
政治部

3

0113

- 72 -

ニ既ニ復歸セシメ又ハ復歸セシムルキ望ナルモ一方焼失セルモノ相当アリ且其ノ寫確保不能ノモノ大多數ニシテ之等ノ事項ハ当事務局ニ於テ各省並ニ諸官廳別ニ取經メ、司令部ニ通告セリ。

官廳公文書ノ中、司令部ニ於テ重兵ヲ置キ居ル旧陸海軍關係及外務省ノ關係書類ニ就テハ本件指令発出前、司令部ニ於テ別途調査済ニシテ本件指令ハ右ニ關シ補足的ニ發出セラレタルモノト思料セラレ。

0112

RA'-0157

0000

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan